



い・た・わ・り

一般社団法人 茨城県福祉サービス振興会情報紙

No.62

[発行人] 鈴木一良 [編集・発行所] (一社) 茨城県福祉サービス振興会 〒310-0851 茨城県水戸市千波町 1918 番地
セキショウ・ウェルビーイング福祉会館 (茨城県総合福祉会館) 5階 TEL.029-241-6939 FAX.029-241-6799

発行 2024.7

特集

福祉事業所の災害対策について

〜能登半島地震支援活動から学ぶ平時からの備えと有事の対応を考える〜

一般社団法人 茨城県福祉サービス振興会 常務理事 能本 守康

穏やかな新年 一転して大地震、能登で！ 石川県の仲間はず？

令和6年1月1日午後4時過ぎ、穏やかな新年を迎え、私は愛犬の散歩を終え自宅に戻った時だった。携帯のけたたましい警報音に一瞬何の音かと戸惑った。地震だ。まもなくして、大きな横揺れに襲われた。かなり揺れ幅が大きく、しかも長い。十数年前を思い出した。あの時はもっと大きな揺れだったと同じような横揺れだった。ということは震源は近くではないな。急いでテレビをつけると、速報で震源は能登半島であると告げていた。正直、震源が近くではなかったことに安堵した。しかし次の瞬間、石川県にいるケアマネジャー仲間の何人も顔が浮かんだ。無事だろうか…。

ケアマネの全国組織の災害対応

情報収集と報告、そして支援活動
令和元年の台風15号での経験

令和元年9月、私はケアマネジャーの全国組織である一般社団法人日本介護支援専門員協会（以下、協会）の常

任理事をしていて、災害対策特別委員会の主担当をしていた。協会役員はいくつかある委員会を持ち回りで担当する。そして9月9日深夜、千葉県に台風15号が上陸して甚大な被害をもたらした。災害担当は現地の被災状況を地元のケアマネジャーなどと連絡を取り把握する必要がある。災害発生時は、その情報を協会本部を通して、逐一厚生労働省に報告することになっている。深夜にもかかわらず、早速何人かに連絡をして状況を把握した。厚生労働省から、障害者の支援はどうなっているのかを確認してほしいという連絡が入り、深夜であることにためらいながらも、障害者の相談支援専門員協会千葉支部の役員に連絡を試みた。数秒して電話に出た相手は、趣旨を理解していただき、その後何度かにわたってお互いの被災状況や今後の支援の方法などを協議した。その一週間

後、今度は台風16号が茨城を襲い、水戸市などに甚大な浸水被害をもたらした。度重なる支援活動に疲弊したことを今でも鮮明に覚えている。

能登地震、半島の特殊性・道路寸断、初動が遅い、支援せねば！

現在も私は協会の役員を継続しているが、災害担当ではない。しかし、災害発生時は担当に関わらず、全国の被災状況を協会に報告することになって



いしかわ総合スポーツセンター（1.5次避難所）での支援活動の様子（毎朝の全体ミーティング）

いる。そして現地の状況を把握する必要がある。能登半島地震発生後、主に報道からの情報を頼りに被災状況がだんだん明らかになっていった。それと同時に、今まで経験してきたいくつもの災害対応に比べ、初動が遅いと感じていた。半島という特殊な地理もあって、支援活動は簡単ではないことは当初から容易に想像できた。だからこそ、半島に残された人たちを金沢市などに早急に移送する必要性を感じてい



いしかわ総合スポーツセンター（1.5次避難所）での支援活動の様子（支援団体ごとのミーティング）

現地に飛ぶ、数度にわたって！ 「災害支援福祉チーム（DWAAT）」 に参画

— 2次避難所の施設確保が困難、石川県内では間に合わず —

た。しかし、道路が寸断された状況下で、その対応は困難を極めていた。陸路がダメなら海や空があるだろうに…。行政機関は何をためらっているのだろう…。

災害発生時に出勤する支援組織はいくつかある。まずは人命救助を目的とした消防や自衛隊などのレスキューに加え、けが人などを治療する「災害派遣医療チーム（DMAT）」や「日本医師会災害支援チーム（JMAT）」、避難所などで身体機能が低下しないように支援する「大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会（JRAAT）」、被災者のメンタルケアを行う「災害派遣精神医療チーム（DPAT）」など、そして避難所での介護などを支援する福祉職による「災害支援福祉チーム（DWAAT）」も重要な役割を担っている。普段はそれぞれの職場で活

躍する各専門職が、災害発生時に召集され現地に派遣される。主に避難所を中心に、にわかを集められた専門職たちが、連携を図りながら速やかに支援活動を行っていく。それぞれのユニフォームを身にまとったそれらの活動の様子は、さながら映画の世界そのものだ。頼もしさをも感じる。そんな中、ケアマネジャーも支援活動に加わることになる。

ケアマネジャーの役割は体育館のような1次避難所に避難してきた要介護高齢者に対し、もっと落ち着いて過ごすことができる2次避難場所としての施設などを確保するコーディネートが主な役割となる。今回は石川県内の施設だけでは間に合わず、他県の施設にも電話をかけたまくり、何とか施設を確保していった。協会の役員全員で分担し対応にあたった。気の遠くなるような作業の連続だった。

普段からの備えが大切、 「業務継続計画（BCP）」に基づく 対応、訓練を

このような災害は、日本列島においていどこで起きても不思議ではないので、まずはそれぞれが災害に備えて準備しておくことが最優先になる。特に医療機関や福祉施設などは、怪我や病气、あるいは介護が必要な人たちを支援するとりわけ重要な役割を担っ

ている。よって、災害が起きても業務を止めないことが求められる。たとえ自らが被災したとしても、早急に業務を再開することが重要となる。そのためにも各制度において、災害時においても業務を継続可能とするための「業務継続計画（BCP）」の策定を義務化している。食料や水などの備蓄はもちろんのこと、職員の役割や優先的に支援すべき利用者のリスト作成など、感染症も含むあらゆる災害を想定した対応策を決めておくことが求められている。

災害発生時のセオリー、 自分の身を守ることに！

— 災害への支援を積極的に、
経験から災害の備えを学ぶ —

災害発生時のセオリーは、まずは自分の身を守ることに。そして家族の安全を確保すること。その上で、それぞれの専門職としての役割を、事業所、地域において速やかに発揮することが重要となる。さらに、他の地域での災害において、支援の要請があった時には、可能な範囲で助け合っていく意識と準備が重要となる。そして、経験した災害を次に生かすこと。人間は嫌な経験は忘れようとする。しかし災害の備えは経験から学ぶことが非常に多いと感じている。決して対岸の火事ではない。

介護講座のご案内

ご自宅や事業所で介護を担う方のために介護講座を開催しています！皆様のスキルアップとなる内容ですので、ぜひご受講をお勧めいたします。詳しくは当会ホームページの「介護講座案内」をご覧ください。

*申込方法

「茨城県福祉サービス振興会」ホームページ内「介護講座・研修」内のお申込みフォームから申込

*受講料…1講座につき3,500円

●オンライン（ZOOM）形式（いずれも13:30～16:30、3時間）

1	「主任介護支援専門員としての地域活動の実践方法について」 実際に現場で生かすための活用イメージを講師と共に検討し学びます。	令和6年8月7日（水）
2	「根拠に基づく科学的ケアマネジメントの実践」 LIFEやAIなどの科学技術の活用術等解説します。	令和6年8月21日（水）
3	「急変のサインと急変時対応」 前兆、予兆のサインに気付くための観察ポイントを学びます。	令和6年8月23日（金）
4	「主任介護支援専門員のための人材育成手法と運営管理のポイント」 日常業務内での人材育成のポイント、押さえておくべき業務管理を学びます。	令和6年9月10日（火）
5	「話術」～利用者・家族・多職種との伝えるための会話術 介護に話術は必須 伝える話術のテクニックを学びましょう。	令和6年9月18日（水）
6	「受講生が納得するケアプラン点検指導の視点と方法」 受講生が「また受けない」と思えるような、指導と内容と伝え方を伝授します。	令和6年10月16日（水）
7	「ACPに基づくターミナルケアマネジメントの実践」 本人による決定を支援するプロセスについて具体的に解説します。	令和6年11月14日（木）
8	「認知症タイプの特徴をケアに活かす」 認知症タイプの特徴それぞれの、現場で活かせる対応策を学びます。	令和6年12月18日（水）
9	「精神疾患の概要と起こりやすい精神症状とその実践的対応策」 統合失調症・うつ病・認知症の特徴と症状や対処方、予防法を学びます。	令和6年12月23日（月）

●会場集合形式（いずれも13:30～16:30、3時間）

10	「介護現場における医療的ケア」（医療行為でないケアの対処方法） 医療行為とは？医療行為ではない行為とは？正しく理解して現場に活かしましょう。	令和6年9月24日（火）
11	「神経難病（主にALS）のケアマネジメント」 増加しつつある神経難病を理解し、適切なケアマネジメントにつなげましょう。	令和6年10月8日（火）
12	「もう一度やってみよう！福祉機器マイスターになろう！」 福祉機器の取扱いと理解される効果的な手法について学びます。	令和6年10月23日（水）
13	「見直そう！排泄ケア」 正しい排泄介助で利用者と介護者共々満足する手法を学びます。	令和6年11月19日（火）
14	「車いすシーティング」 正しい姿勢を整えることにより、利用者様の症状改善、機能訓練になりえます。	令和7年1月21日（火）
15	「集団レク・エクササイズ（ベーシック）」 集団レク・エクササイズの目的と効果を学び、日頃のレクの質を上げましょう。	令和7年1月28日（火）

<腰痛予防モデル施設研修のご案内>（茨城県介護職員腰痛予防対策推進事業）※介護事業所が対象となります。

介護事業所の腰痛による離職・休職による現場の人員不足が問題となっています。腰痛対策は、管理者をはじめとする組織的な腰痛予防の取組みが必要不可欠です。茨城県福祉サービス振興会では県内の介護施設6箇所を「腰痛予防モデル施設」として指定をし、外部の介護事業所へ研修を開催しています。職場内の環境改善の参考となると思います。ぜひご受講をご検討ください。

*受講料 無料 *開催形式 施設訪問形式またはZOOMによるオンライン形式

*腰痛予防モデル施設

- ①特別養護老人ホームうみべの家（大洗町）
- ②特別養護老人ホームこほく（土浦市）
- ③青嵐荘特別養護老人ホーム（結城市）
- ④特別養護老人ホームサン豊浦（日立市）
- ⑤特別養護老人ホーム松寿園（鹿嶋市）
- ⑥特別養護老人ホーム桜の郷元気（茨城町）



*詳細は「茨城県福祉サービス振興会」ホームページ内「介護職員腰痛予防事業」をご覧ください。

福祉用具展示ホールについて

福祉用具展示ホールでは、車いす、介護ベッド、杖等の福祉用具、介護ロボット等約400点を展示しております。見て、触れて、お試しできますので、ぜひご来館ください。貸出可能なものもございます。（販売は行っていません。）

- ・場 所 セキショウ・ウェルビーイング福祉会館（茨城県総合福祉会館）2階
- ・開館時間 9：00～17：00（土日祝日除く）
- ・電 話 029124414425

【新展示品の紹介】

●アシステップー階段補助手すりー（展示協力：大同工業㈱）

高齢者や運動機能が低下した方の階段移動を安全にサポートする手すりです。

※デモ機を展示していますので、ぜひお試しください。

- ・電気を使用しないので、停電時やバッテリー切れの心配がありません。
- ・正面の姿勢で階段を上下するので、体幹が安定します。両手でしっかり手すりを握ることもでき、転倒のリスクが低減します。
- ・階段を使用する心の負担軽減にもなり、歩行の維持につながります。

〈価格〉別途相談



〈使用イメージ〉



〈展示ホール デモ機〉

【貸出 DVD・図書について】

介護技術関連のDVD、図書の無料貸出を行っています。（ホームページ内で貸出の一覧をご覧ください。）

- ・貸出条件 ①お一人様1回3点まで ②貸出期間 2週間（延長可） ③送料負担で送付可能

●おススメ図書「ケアマネ・介護職のための、すぐ役立つ！医学知識ガイド」

高齢者に多い48の病気についての特徴、ケアマネ・介護職ができる対応方法についてオールカラー・図解で紹介しています。

特設コーナー展示

特設コーナーでは、月替わりでおススメの福祉用具の展示を行っています。

場所：セキショウ・ウェルビーイング福祉会館
1階

8月 入浴補助用具

9月・10月 歩行器

11月 手すり

12月 移動用リフト

（写真は過去のものです）

※協力：日本福祉用具供給協会茨城支部

